

# ニカラグア共和国と 覚書を締結



「中米地域7カ国・地域のNOC(オリンピック委員会)関係者とホストタウン自治体等との交流会」が8月22日、都内で開かれました。交流会では、東京2020オリンピック・パラリンピックで、中米やカリブ海地域の国・地域のホストタウンに登録された7市町

が相手先の関係者と交流内容に関する覚書を結びました。

大会終了後にオリンピック選手が甘楽町を訪問し、町民と交流をすることなどが約束されました。



覚書を交わす森平副町長(左)とロドリゴ・コロネル全権大使

## ニカラグア大使館 メッセージ



ロドリゴ・コロネル  
駐日特命全権大使

甘楽町がニカラグア共和国のホストタウンに登録されました事を、我が国のオリンピック選手を代表して、また私個人として、心より感謝申し上げます。私が甘楽町を訪問した時、まさに「甘楽町」を表現しているかのような美しい風景と出会い、皆様の心の温かさを感じました。甘楽町が我が国のホストタウンに登録され、本当に嬉しく思います。我が国のオリンピック選手たちも、甘楽町の素晴らしさを感じ、美しい風景や美味しいお料理はもちろんですが、何よりも甘楽町の皆様の心の温かさに魅了される事でしょう。

## ～研修団の皆さんから～



団長  
齊全 さん

皆さんの温かさに触れる素晴らしい5日間でした。知らなかった日本の文化を身をもって体験でき、実りある研修になりました。感謝申し上げます。甘楽町の中学生がハルビンに来る日を楽しみにしています。

## 団員 楊明軒さん

甘楽町での滞在中、さまざまなおところにいき、とても楽しく良い思い出になりました。和食もおいしかったです。これからも甘楽町とハルビンの友好がますます続きますように！

## 相互交流でさらなる友好

甘楽町とハルビン市教育局は、友好交流を始めてから28年を迎えています。お互いに中学生を派遣するなど関係を深め、今年は市内の中学生12人が研修団員として8月16日から23日まで中国を訪問しました。ハルビン市を訪問した中学生研修団の様子は広報から10月号で紹介されます。



サイエンスマジックショー  
参加者の皆さん

# 第11次ハルビン市学生研修団来町

## 両市町の友情を深めた夏

第11次中国・ハルビン市学生研修団17人(小中学生14人、団長・随員3人)が8月2日に来町し、市内の施設見学や小中学生との交流などで相互理解を図り、友好の輪を広げました。

## 交流の一翼を担う 両市町の子どもたち

研修団は8月4日早朝、甘楽ふれあいの丘で開かれた「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」に参加し、町民の皆さんと一緒にさわやかな汗を流しました。同日午後には、約2週間後に中国を訪問する甘楽町の中学生と一緒にカレー作りを体験し、交流を深めました。



日中の研修団員でカレー作り

また、翌5日には、新屋小学校体育館で行われたサイエンスマジックショー(関連記事は18ページ)に参加して、小学生と触れ合ったほか、甘楽中学校やかんら保育園を訪問し、町内の子どもたちと楽しいひとときを過ごしました。



かんら保育園で園児と交流

研修団は8月6日に甘楽町の滞在を終え、東京見学をして8月8日に無事帰国しました。



ハルビン市での再会を約束した両市町の研修団員の皆さん



甘楽中では生徒会役員が案内